

2018年3月2日

「2018 J-Win ダイバーシティ・アワード」において 「企業賞 アドバンス部門 大賞」及び 「個人賞 D&I 推進リーダー部門 リーダー・アワード」を受賞

アフラック（日本における代表者・社長：古出 眞敏）は3月2日、特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク（略称：NPO 法人 J-Win）が主催する「2018 J-Win ダイバーシティ・アワード」において「企業賞 アドバンス部門 大賞」及び「個人賞 D&I 推進リーダー部門 リーダー・アワード（専務執行役員・有吉浩二）」を受賞しました。

「J-Win ダイバーシティ・アワード」は、ダイバーシティ&インクルージョン（以下 D&I）を推進している先進企業を表彰することで日本企業における D&I 推進を加速させることを目的として、2008 年から実施されている顕彰活動です。



当社は、すべての社員の多様性を尊重し、その能力を最大限発揮できる環境を作ることで、持続的な成長を目指すダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。

この度の「企業賞 アドバンス部門 大賞」受賞は、経営トップの強力なリーダーシップのもと、活力ある企業風土を醸成するため、各部門で PDCA を回す強固な推進体制を整えた点や、女性リーダーを輩出するための各種施策を実行した点など、当社の積極的な企業姿勢が評価（※）されたことによるものです。

また、「個人賞 D&I 推進リーダー部門 リーダー・アワード（専務執行役員・有吉浩二）」については、営業部門の統括責任者として女性が活躍できる職域拡大の仕組みを構築し、業務プロセスを可視化するなど、ダイバーシティ推進の価値を理解し、実践した行動力やリーダーシップが評価されました。

なお、本アワードにおいて、当社は 2016 年に「企業賞 ベーシック部門 ベーシックアチーブメント大賞」、2017 年に「個人賞 経営トップ部門 経営者アワード」を受賞しており、今回の受賞により 3 年連続の受賞となります。今後も当社は、女性をはじめとする多様な人財が最大限に能力を発揮できる環境を整備することで、ビジネスの持続的な成長を目指すダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいきます。

※詳細は別紙を参照

別紙

【特に評価された主な取り組み】

■ 経営トップのコミットメントと強力な推進体制

- ・ 高水準な数値目標を公表：
2020 年末までに指導的立場に占める女性の割合を 30%以上、2025 年にライン長ポストに占める女性の割合を 30%以上に設定
- ・ 日米経営陣によるコミットメント：
Aflac Women in Leadership Global Conference 共同宣言を採択
- ・ タウンホールミーティング全国開催、ダイバーシティ・ラウンドテーブルの開催

■ 強化層に集中したメリハリの効いた施策実行

- ・ 強化層に位置付けた女性社員（課長代理）に対する、施策の実施：
役員を巻き込んだ育成計画を策定し、キャリアプラン研修や面談などを実施
- ・ 営業部門の女性パイプライン拡充：
ロールモデルの組織化、経験の拡充・人脈の構築（一時転勤制度など）

■ 働き方の変革

- ・ 一人ひとりが業務特性やライフイベントに応じた柔軟な働き方を選択：
在宅勤務、サテライトオフィス（首都圏 8 か所）、モバイルワーク、フレックス勤務、シフト勤務の導入と定着

【関連サイト】

- ・ NPO 法人 J-Win ホームページ：<http://www.j-win0.jp/>
- ・ アフラックのダイバーシティ推進の取り組み：<http://www.aflac.co.jp/corp/mesena/diversity.html>